

テーマ①【合併後の良くなった点と悪くなった点】

<良くなった点>

交流が生まれた

- 人口が増えたことで、いろいろな人との交流が生まれた。
- 他地区との連携がしやすい。
- 祭りなどのイベントが多くなった。

資源等

- まちの宝物（資源）、特産物が増えた。
- キャラクター「じげん」が定着した。
- 人材が増えた。
- 知名度が上がった。

施設整備

- 横町門前町通り、インフォメーションセンター美里蔵ができた。
- 温泉や庁舎などの施設が増えた。
- 新鶴 SIC ができた。

<悪くなった点>

人口減少

- 人口が減った。小学校が減ったことも拍車をかけている。
- 人通り、車通りがなく、まちなかが寂しくなった。
- 高齢化が進んでいる。子供の姿も見なくなった。
- 空き家が大変多くなっている。
- 利便性が低下し都会へ出ていってしまう。
- 中心市街地がさみしい。高齢化が進み活気がない。

農業・林業の衰退

- 耕作放棄地が増え、山林の荒廃が進んだ。

地域性の低下

- 町名が消え、分かりづらくなった。
- 3地域に一体感がない。
- せと市の日に高田では6時に町内清掃がある。

交通が不便に

- バスがなくなった。高田～新鶴間のバスがない。
- あいあいタクシーの便数が少ない。

イベントが増加

- 観光行事が多すぎる。（関わる人、アイデアが同じである）

無駄が増えた

- 庁舎が分散し、時間が無駄、手続きが不便である。
- 事務手続きが増えた。

その他

- 変化がない。
- 住民サービスの低下
- 町民と行政のパイプが細くなったように感じる。
- 新鶴地区にガソリンスタンドがなくなった。

テーマ②【2050年の会津美里町の将来像】

地域のつながり・まちへの愛着

- 地域で仲良く、安心して暮らせるまち
- 高田、本郷、新鶴がつながる、明るいまちづくり
- まちに誇りを持ちたい。
- 商工会を一つにして話し合いができるまちづくり
- 役場は一本化
- 3町の個性をいかし、それぞれをつなぐまちづくり

若者定住

- 若い男女が出会え、結婚したくなるまち
- 若年層が住みやすく、戻ってきたいと思うようなまち
- 子供から高齢者まで、3世代で暮らせるまち
- 子供を育てたいまち
- 人が住んでいて、世代のバランスがとれたまち

環境保全

- 環境モデル都市。エネルギー自給率100%とし、他地域へ供給
- 今と同じ田園風景がある。自然環境が豊か

産業

- 起業しやすいまち
- 美里町の知名度が上がり、観光客が多く来るまち
- 雇用の場があるまち／大都市のベッドタウン
- 農産物販売額が増加、おいしい食べ物がたくさんあるまち
- 農商工連携し、総合的に展開していくまち
- 商店街の整備が完成している

暮らし

- 敷地に畑があり、自給自足を楽しめる暮らし
- 一人ひとりが今までと同じような暮らしができる。
- 世帯所得に関わらず、将来に希望をもち明るく生きられるまち
- インフラが維持、整備されている。
- 年をとっても安心して暮らせるまち

テーマ②続き【2050年の会津美里町の将来像】

医療が充実

- パソコンを利用した遠隔診察、治療ができる。
- 医療体制が整った、安心して暮らせるまち

災害

- 災害の少ないまち

冬でも快適に

- 雪のないまち（雪対策を講じる）

交通

- 行きたい所へ移動する手段があるまち

その他

- 大学等、学びの場があるまち
- 会津共和国。行政は会津一束に。
- 伝統芸能等、古きよきものは守り、続いてほしい。
- 伊佐須美神社が完成している。
- 犯罪の少ない平和なまち

テーマ③【将来像実現のために取り組むべきこと】

町民が積極的にまちづくりに関わる

- 行政任せにしない、民間主体のまちづくり
- 町民一人ひとりの意識改革
- 地区の困りごとを地区で解決する。

人口増加

- 人口増加、若者の結婚の奨励と土地の提供
- 都会から人を呼ぶ。

環境

- 森林整備、自然動物との共生

観光の推進・産業

- 伊佐須美神社を始めとする文化財のPR
- 滞在型観光地の形成／フクシマの魅力発信
- まちの一軒一軒、田んぼや畑が観光できるように対応する。
- 広域での大企業誘致、ベンチャー誘致
- 個性的なホテルをつくる。
- 歩いて観るコース作り。
- ポイント制度で地産地消を推進

農業の振興

- 農産物の販路開拓支援
- 後継者、担い手の確保

福祉の充実と健康づくり

- 保育料を安くする。子育て費用の無料化
- 健康的な食生活の推進

交流の場づくり

- お年寄りと子どもが一緒に過ごせる施設をつくる。
- お茶やおしゃべりに集まれる場所づくり
- 親子で遊べる場所づくり

防災

- 消防体制の充実／土地を用途（畑、山林等）ごとに適切に活用。

公共交通の充実

- デマンドあいあいタクシーの充実

その他

- 伝統芸能を教える。
- 教育の充実・大学の誘致
- 公共施設のファシリティ・マネジメント
- 事業は単発でなく総合型事業として展開する。